



卓越研究員事業研究員募集

(鹿児島大学難治ウイルス病態制御研究センター)



目的: 難治性ウイルス感染症に対する治療法の開発

研究内容:

感染症は人類が直面する病気の中でも最大規模の疾患群で特に発展途上国では医療における最も重要な課題となっています。

センターでは、「逆転写酵素」と「排除困難」という2つのキーワードに該当する難治性ウイルスである1) HTLV-1、2) HIV-1、3) HBVに関する研究を行っています。

これらのウイルスに対して「ウイルス量の減少」からさらに踏み込み、「ウイルス量ゼロ」を可能にする新しい治療法の開発を目指しています。

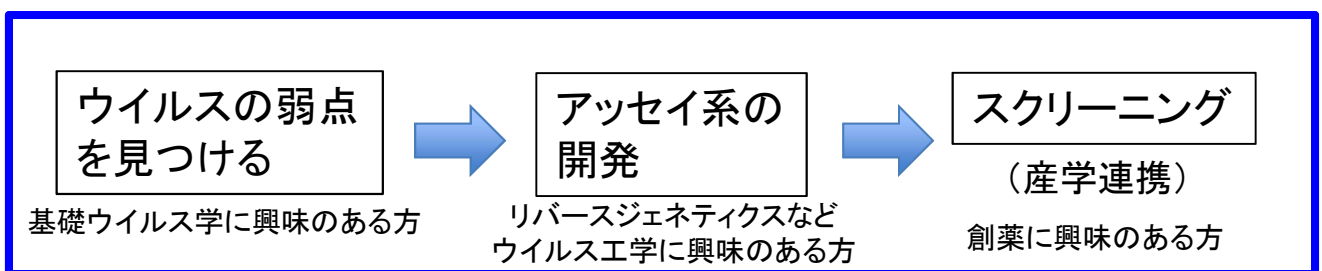
HTLV-1感染は南九州に多い感染症で難病のATLやHAMの原因となります。HIV-1患者は1度感染するとエイズ発症予防のために一生涯薬を飲み続ける必要があります。HBV感染は肝臓の原因となりますが、潜伏感染を含めると感染者数は世界で最大約20億人(世界人口の約27%)と推定されています。

感染症研究の魅力はウイルスを排除することで患者さんから病気の苦しみを解放させることができます。

HTLV-1: ヒトT細胞白血病ウイルス、HIV-1: ヒト免疫不全ウイルス、HBV: B型肝炎ウイルス
ATL: 成人T細胞白血病・リンパ腫、HAM: HTLV-1関連脊髄症

求める人材:

- 1) ウイルス学の経験、2) 分子生物学の経験、3) 腫瘍学の経験、4) 創薬の経験、5) 情熱のうちいずれか1つを有し、将来のウイルス学研究のリーダーを目指す方。



情熱ならスティーブ・ジョブズ
に負けないという方

抗ウイルス剤の開発
(大学発創薬、事業化)

感染症による癌、神経疾患、免疫不全等から解放する

詳細は鹿児島大学難治ウイルス病態制御研究センターHP (<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~ccvd/>)
あるいは
検索: 難治ウイルス

問い合わせ先(池田 正徳 イケダ マサリ)
TEL: 099-275-5935
E-mail: maikeda@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp

一緒に創薬維新を目指しませんか!